

## 第94回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成20年12月8日(月)
- |       |           |         |
|-------|-----------|---------|
| 12:00 | 第94回総務委員会 | 鉄鋼会館806 |
| 15:00 | 経産省ヒアリング  | 経産省     |
| 16:30 | 業界紙記者と懇談  | 事務局     |

### 2. 第94回総務委員会

出席者

高木 建 (理事長)  
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)  
川口克彦 (副理事長・東海支部長)  
永吉明彦 (副理事長・大阪支部長)  
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)  
柘野 (事務局)

議 題。

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 独禁法コンプライアンスの支部対応について
- (3) シヤリング業100年の記念事業について
- (4) 鉄鋼会館との賃貸借契約について
- (5) 平成21年合同賀詞交歓会の議事次第について
- (6) 次期(第34期)全国通常総会の開催概要について
- (7) その他

経 過

#### (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部修正の上了承された。  
(別添資料参照)

#### (2) 独禁法コンプライアンスの支部対応について

さる10月30日開催の理事会において文書により法令遵守の徹底

を再確認したが、その後の各支部の対応・方針について支部長及び事務局より説明が行われた。各支部とも理事会で承認された指針に基づき、鋭意見直しを進めている旨報告があった。なお、東北地区の委員長交代については、後任を誰にするか、吉里総務委員長と再度相談し決めることとなった。

### (3) シヤリング業 100 年の記念事業について

来年（2009年）は日本にシヤリング業が誕生して100年目を迎える。事務局より、記念事業の実施案について説明。検討の結果、①業界情勢が急変している時でもあり、あまり華々しいことはできない。②シヤ業100年も一つの節目ではあるが、工業組合の創立50周年といった節目に比べると動機付けが弱い。③来年の総会を記念総会として位置付けるとしても、準備時間が限られている。等の意見が出された。事業イメージとしては、たとえば、①予算の範囲内で、HP上に、100年の記念ページを簡潔に掲載する、②新聞に取り上げてもらう、③記念品を作るなどが考えられ、内輪の事業として計画したらどうかとの意見が太宗を占めた。今後、この考えに沿って、関係者と相談しながら、具体案を作成し、総務委員会等に諮ることとなった。

### (4) 鉄鋼会館との事務室賃貸借契約の変更について

事務局より、「先般鉄鋼会館より、標記賃貸借契約について、現行の個別契約（平成14年4月1日付け文書で締結）から、同居3団体の連名契約に変更してほしいとの申し入れがあった」旨、報告した。審議の結果、「当組合としては、連名契約は連帯責任という縛りが発生することとなり、現行の契約方式のままでよいのではないか。変更となれば、会館との交渉余地（借室料等）が残されており、本件は他の2団体と連携して慎重に対処してほしい」との指示があった。

### (5) 平成21年合同賀詞交歓会の議事次第について

事務局より、来年1月14日、虎ノ門パストラルで開催される合同賀詞交歓会の次第について以下の通り説明、了承された。

- ①開会挨拶：高木建当組合理事長
- ②来賓挨拶：石川正樹経済産業省鉄鋼課長

- ③乾杯挨拶：今久保哲大鉄鋼産業懇談会会長  
(新日本製鐵(株)代表取締役副社長)
- ④中締め： 酒匂雅信・当組合東京支部長
- ⑤司会： 吉里勉当組合理事・総務委員長

### (6) 次期(第34期)全国通常総会の開催概要について

次期通常総会の開催概要に関し、以下の通り報告があった。

通常総会及びパーティ

日時：平成21年5月22日(金)午後3時

場所：鹿児島県指宿市「指宿いわさきホテル」

総会懇親ゴルフ会

日時：平成21年5月23日(土)午前7時30分

場所：「いぶすきゴルフクラブ」(12組予約)

(注) ①ゴルフのスタート時間はその後旅行社より連絡があり、  
7時30分に確定。

②往路・復路の交通手段・タイムスケジュール等については、  
検討して、後日連絡予定。

## 3. 経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

石川鉄鋼課長、松渕課長補佐、芳澤係長、他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、川口東海支部長、

永吉大阪支部長、木村九州支部長、

柘野(事務局)

経過

最初に高木理事長より、足元の情勢について概括説明があった後、各支部長よりそれぞれ支部の需要動向について報告。引き続き意見交換が行われた。

以上